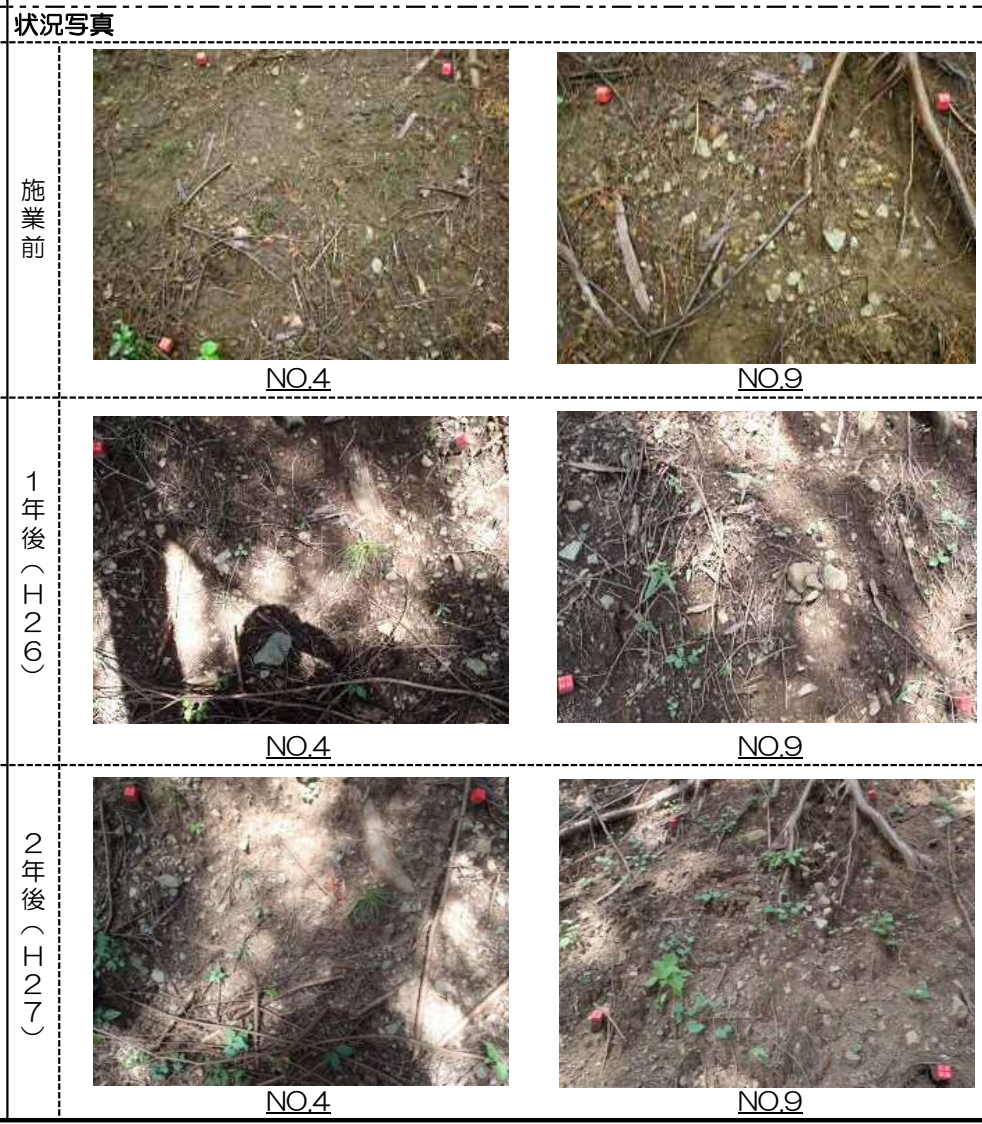
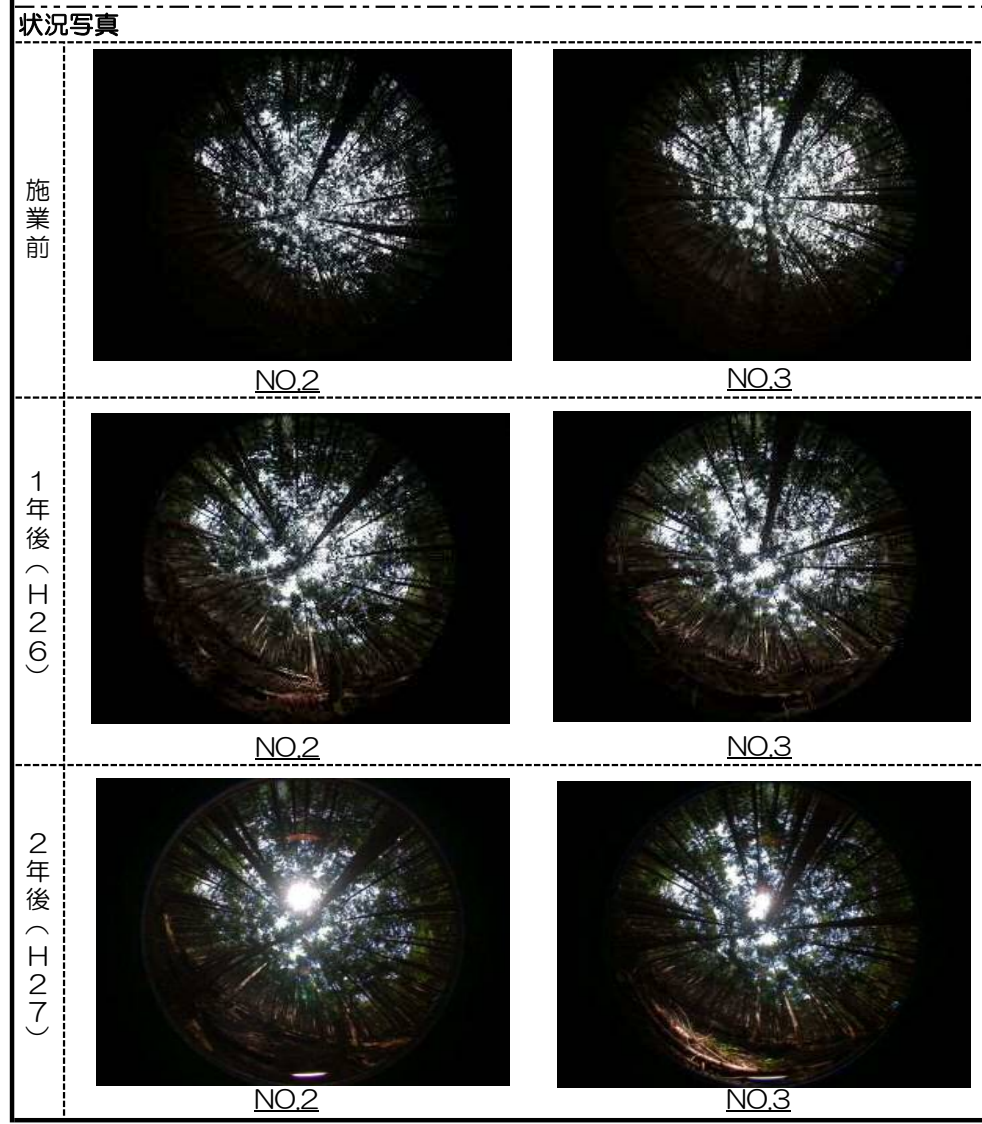
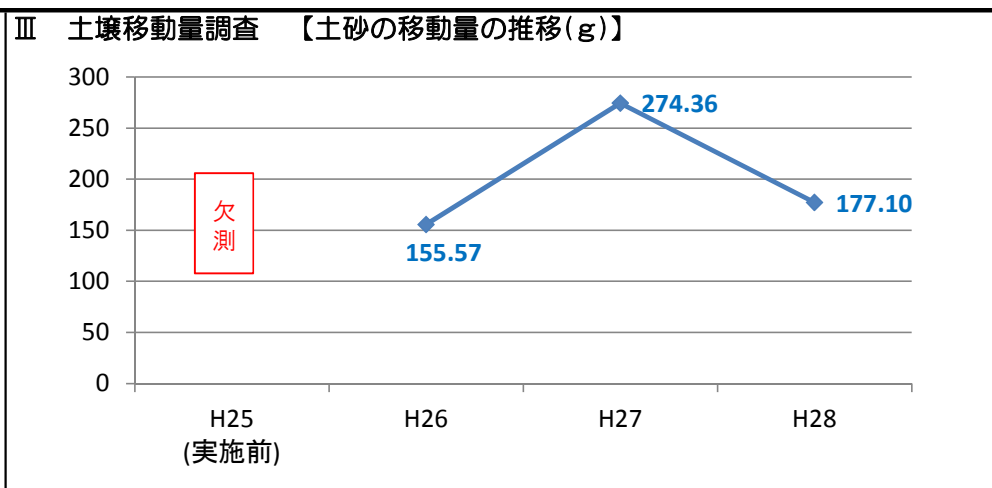
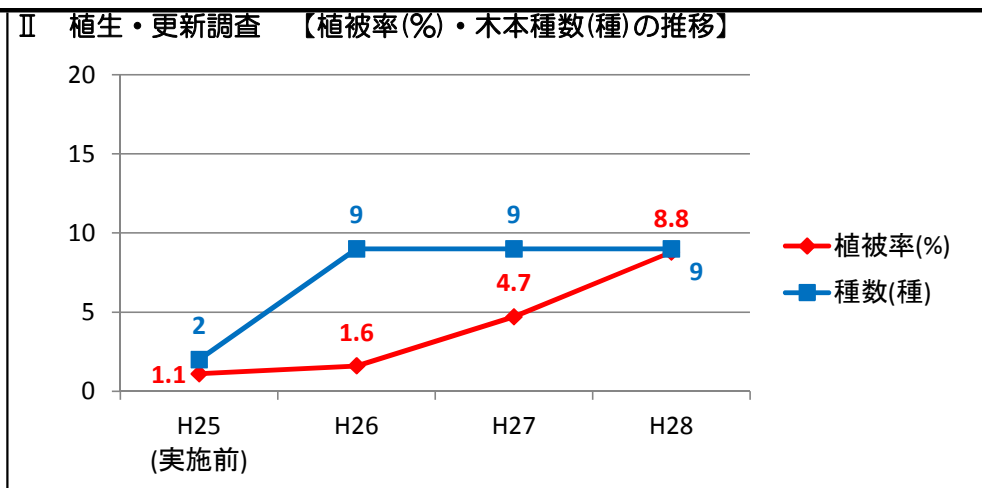
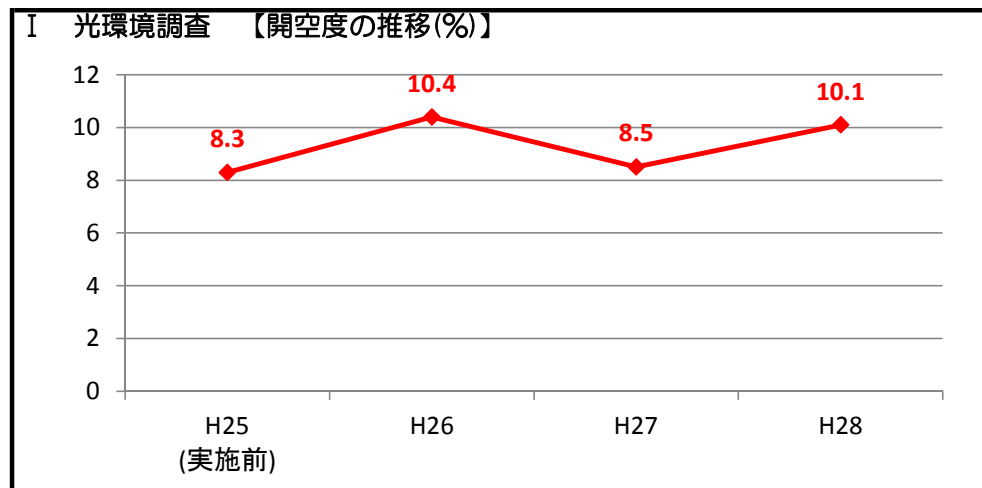
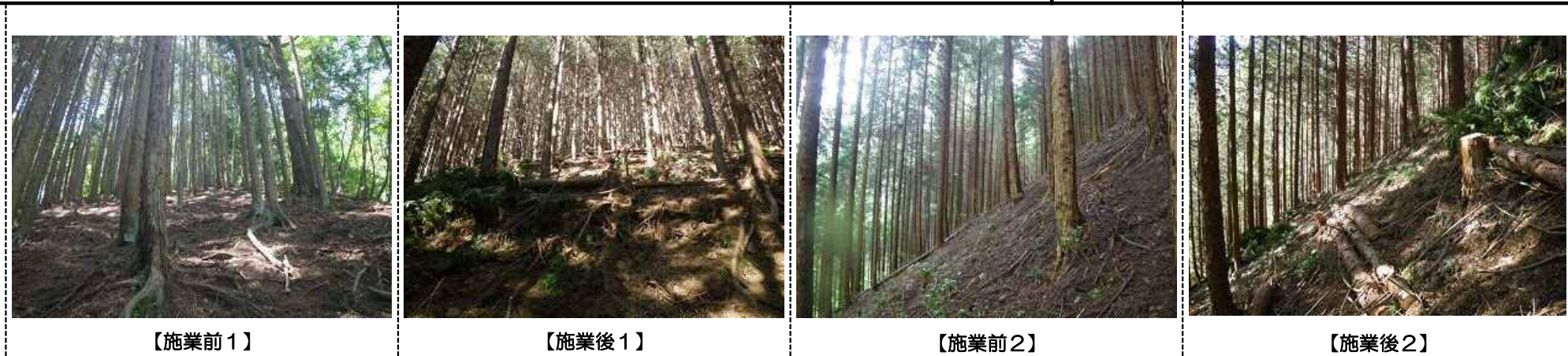


事業概要
樹種 ヒノキ
間伐 0.53ha
間伐率 30%

位置図



状況写真

土砂受け箱設置状況

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	82	55	
平均胸高直径(cm)	18.5	20.8	

【現況】

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は37°と急勾配。
- ・伐採木が林内に集積されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。

【所見】

- ・開空度は間伐後の状態から上昇し、植被率も上昇している。
- ・土砂の移動量は減少し、植被率の上昇が寄与していると考えられる。
- ・木本種数は維持されており、今後の針広混交林化が期待される。

状況写真

3
年
後
(H28)



NO.2



NO.3

状況写真

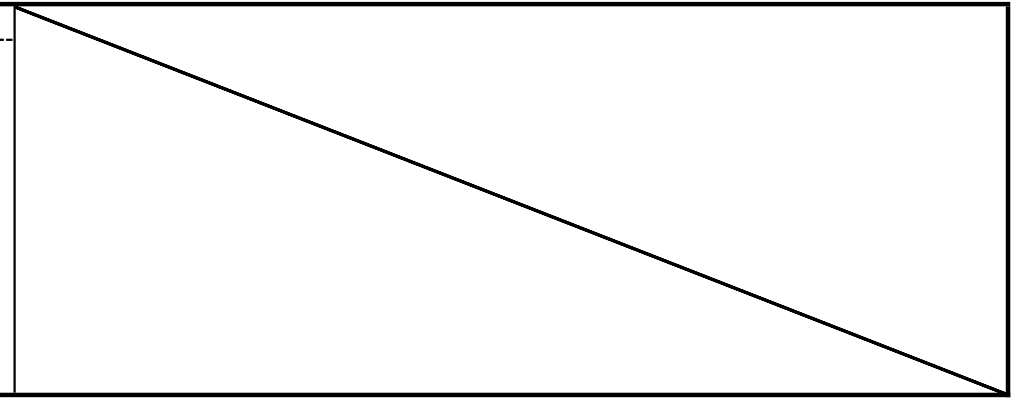
3
年
後
(H28)

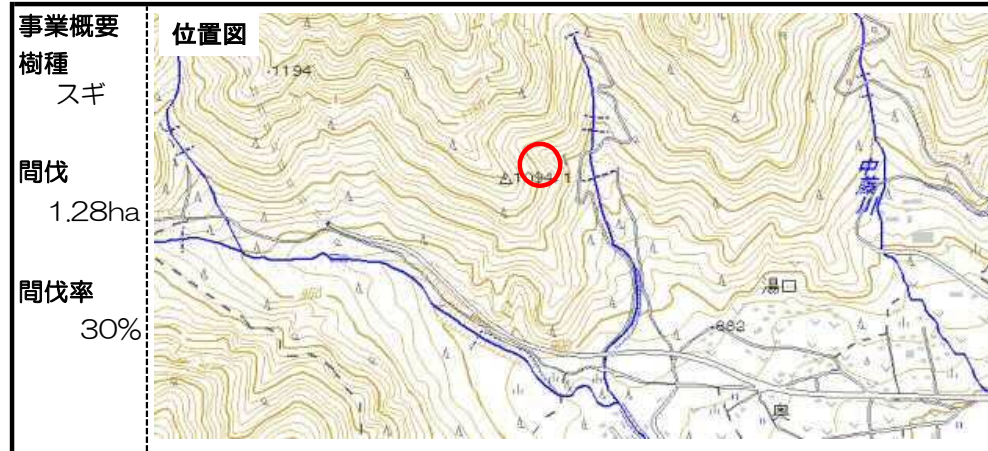


NO.4



NO.9





【施業前1】



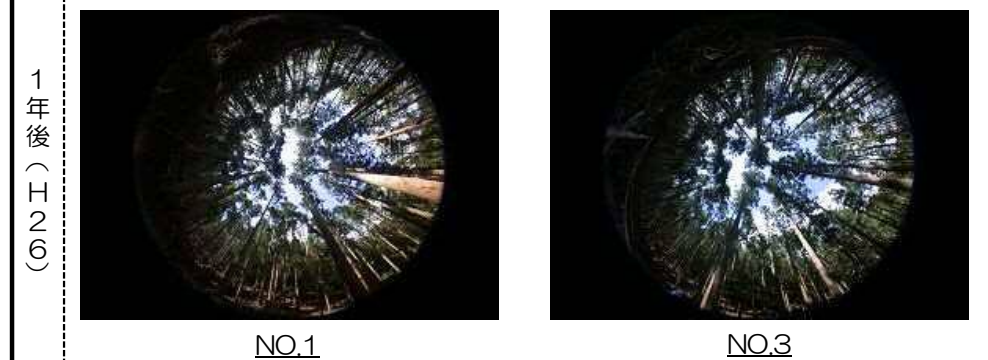
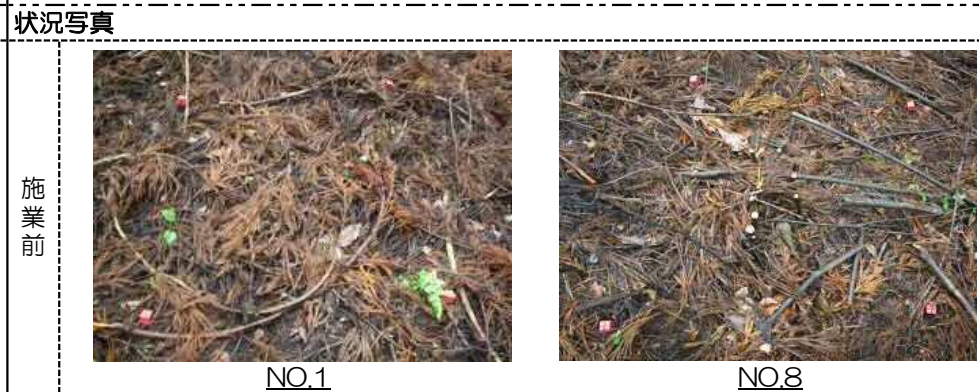
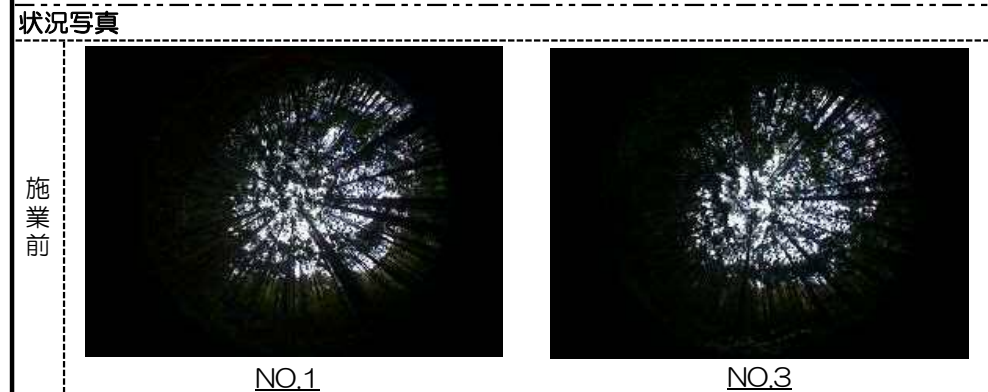
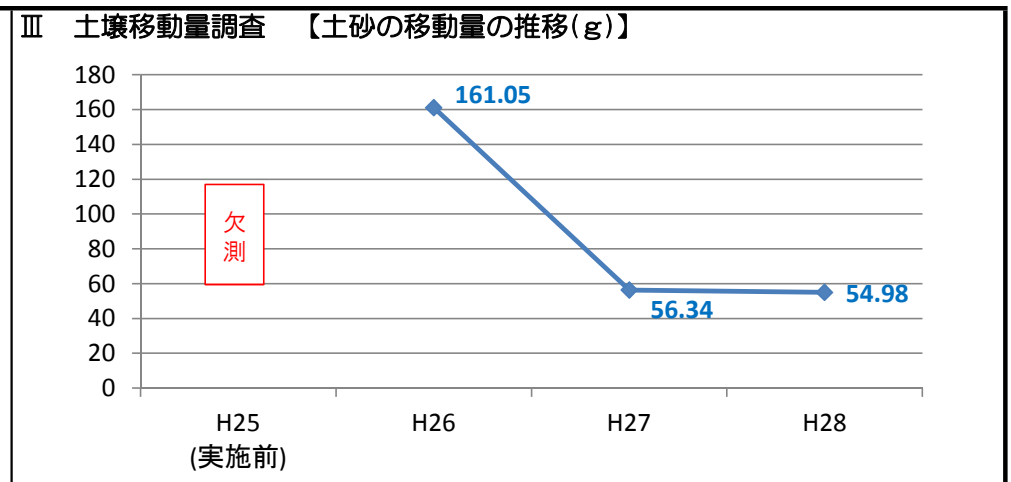
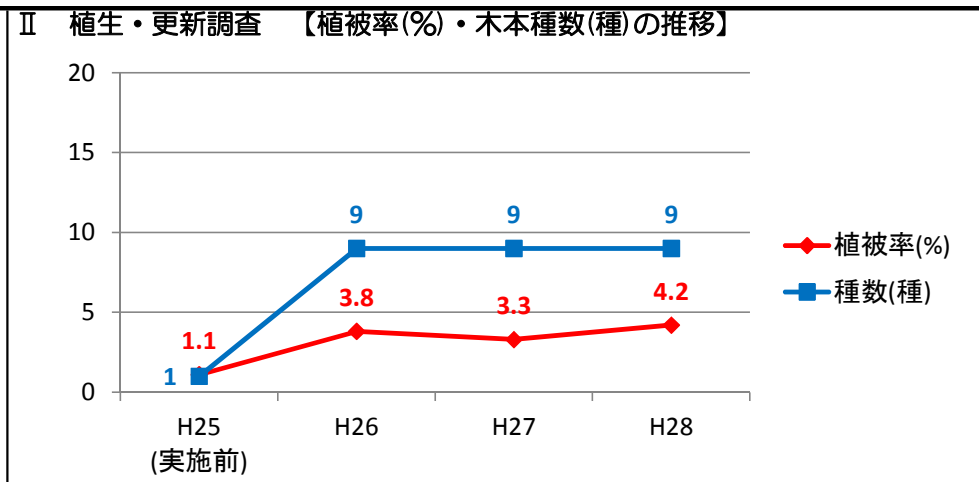
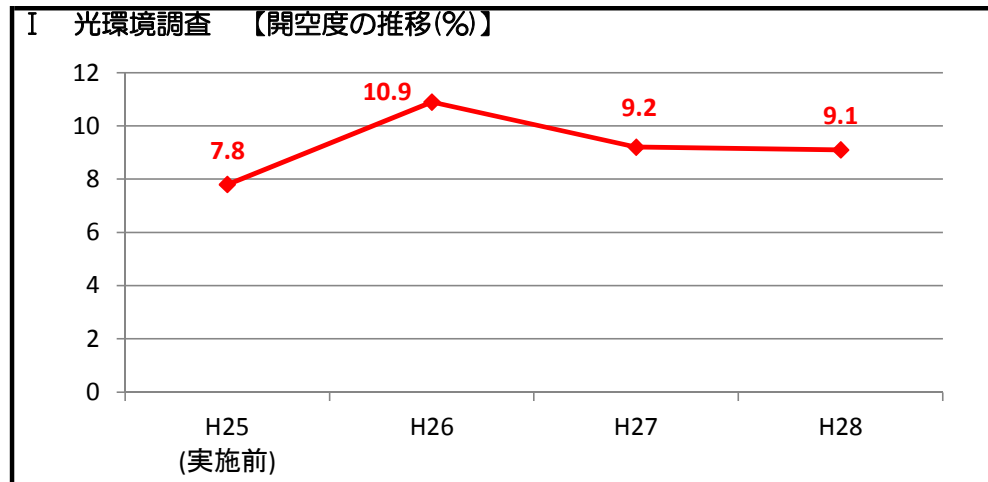
【施業後1】



【施業前2】



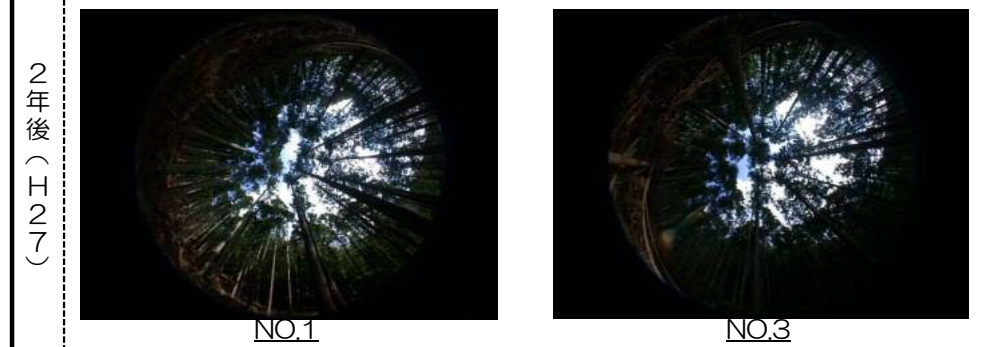
【施業後2】



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	50	27	
平均胸高直径(cm)	24.4	32.4	

- ・間伐の結果、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は32°と比較的急勾配。
- ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- ・スギの落葉が厚く堆積していることから、現時点では洗掘等土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに間伐後の状態をほぼ維持していた。
- ・土砂の移動量は減少し、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。
- ・調査区全体での木本種数も維持されており、今後の針広混交林化が期待される。

状況写真

3
年
後
(H28)



NO.1



NO.3

状況写真

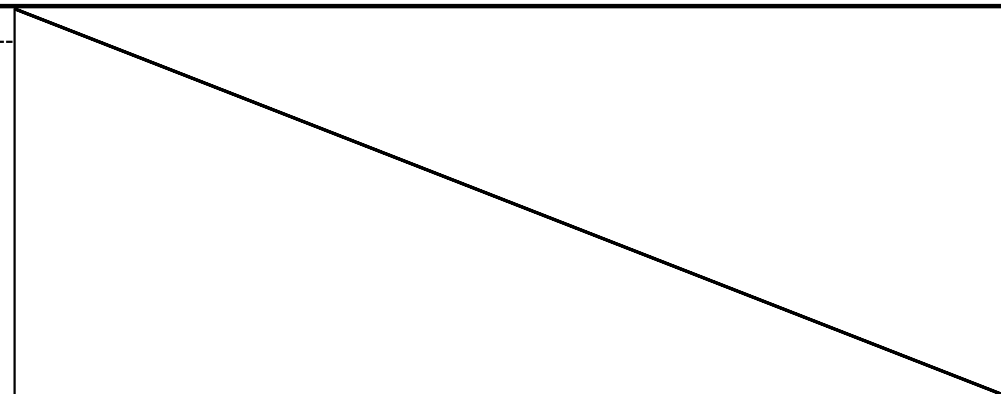
3
年
後
(H28)



NO.1



NO.8



広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査書

調査箇所 ⑬ 山梨市牧丘町杣口山 地内

事業概要

実施年度	H24年度
樹種	ミズナラ
植栽面積	1.84ha
植栽本数	2,700本
〔標準地(10m×10m)内〕	
植栽本数	15本
活着本数	13本
食害本数	0本
破損ネット	0枚

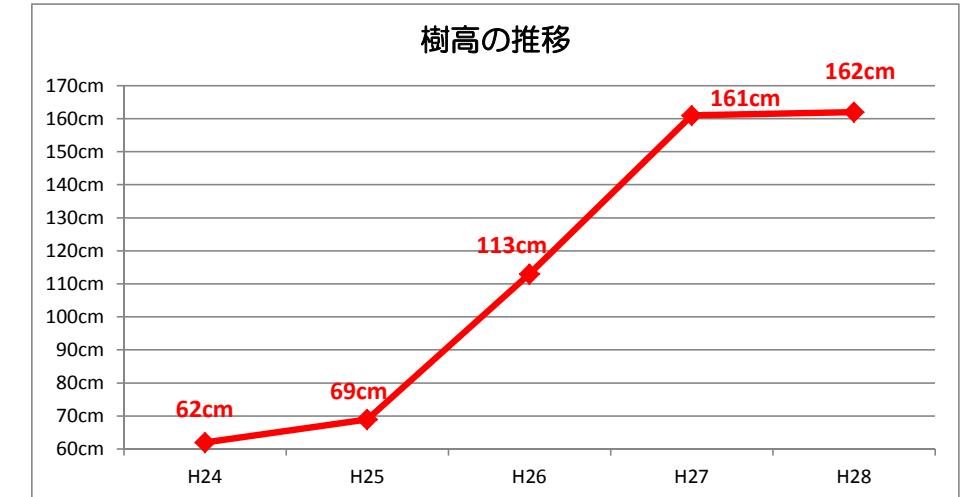
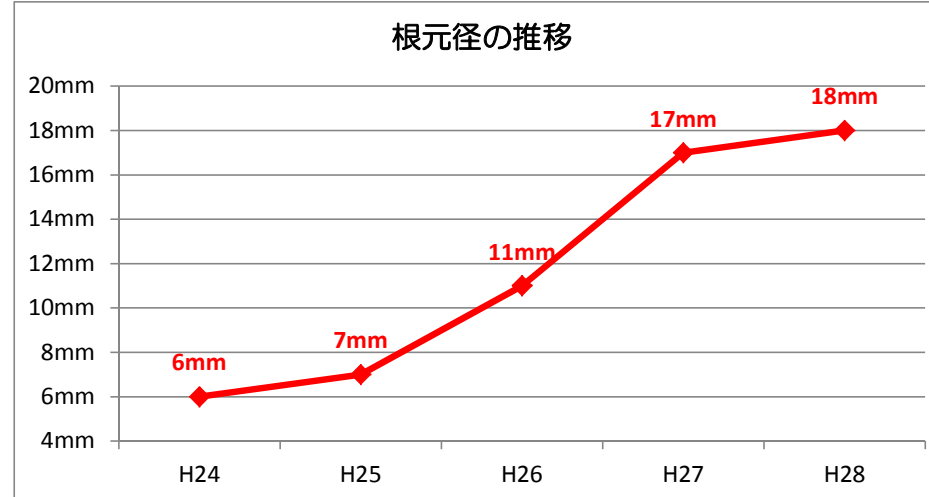
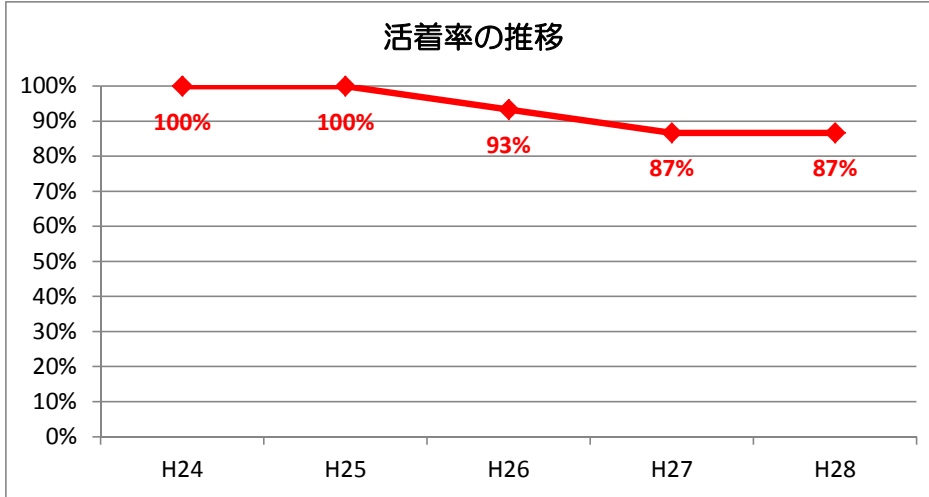


【施業前】



【施業後】

調査結果 (標準地内の状況)



【平成25年度】



【調査結果】

- 調査区内の全個体が展葉し、根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。
- 食害防止ネットにも破損は見られない。

【所見】

- 順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。

【平成26年度】



【調査結果】

- 枯損木が1本発見されたため、今後適期に補植を行う。
- 食害防止ネットは全数が健在。
- 生育状況は、個体間で差異が認められるが、概ね良好である。

【所見】

- 順調に生育している。下刈り期を中心に点検を行い、獣害の有無等を注視していく。

【平成27年度】



【調査結果】

- 新たに枯損木1本発見されたため、今後適期に補植を行う。
- 新たな枯損箇所の食害防止ネットに破損が見られた。
- 生育状況は、各個体間とも、良好である。

【所見】

- 順調に生育している。随時、食害防止ネットの点検を行い、獣害の有無等を注視していく。

【平成28年度】



【調査結果】

- 食害防止ネットがずり下げられ、食害を受けている植栽木が見受けられた。
- 生育状況は、食害を受けていない個体については概ね良好である。

【所 見】

- 食害を受けた植栽木が見受けられるので、随時、食害防止ネットの点検・補修を行い、獣害防止に努める。

広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査

調査箇所 ⑭ 南巨摩郡富士川町平林奥仙重

事業概要

実施年度	H24年度
樹種	クリ・ミズナラ
植栽面積	1.84ha
植栽本数	3,350本
〔標準地(10m×10m)内〕	
植栽本数	17本
活着本数	14本
食害本数	0本
破損ネット	0枚

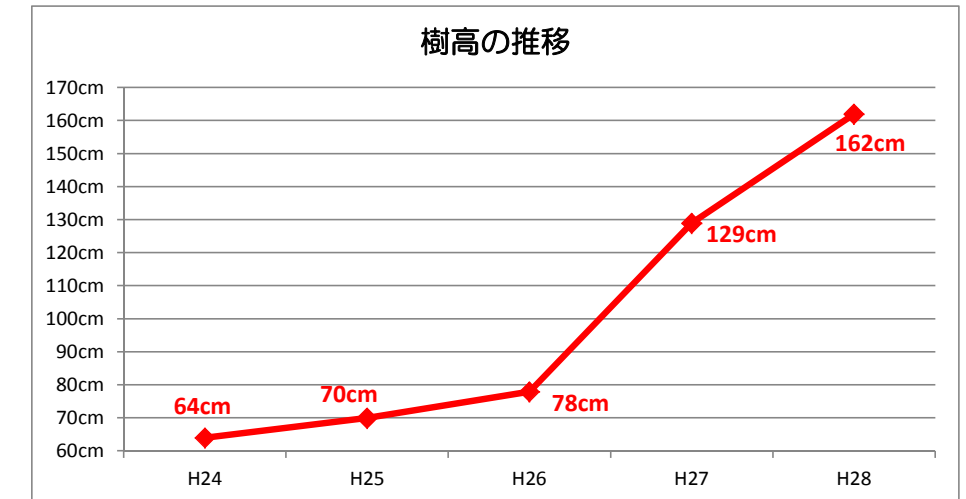
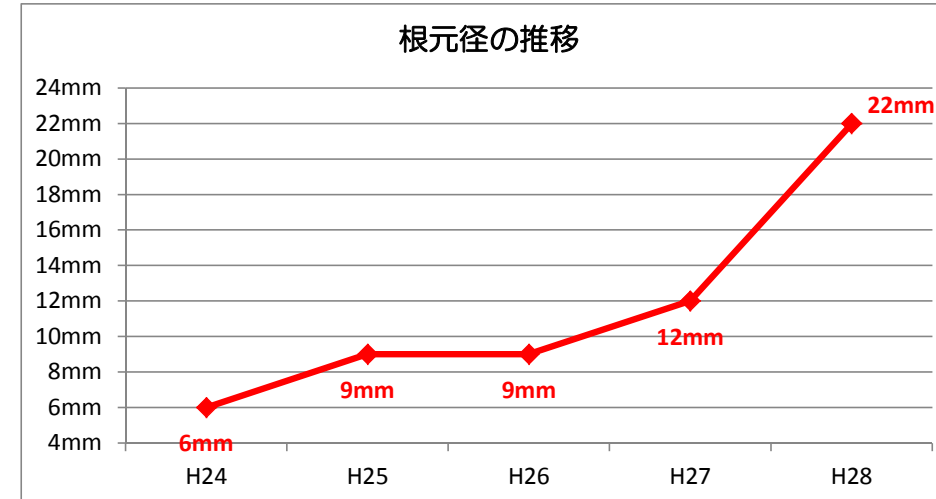
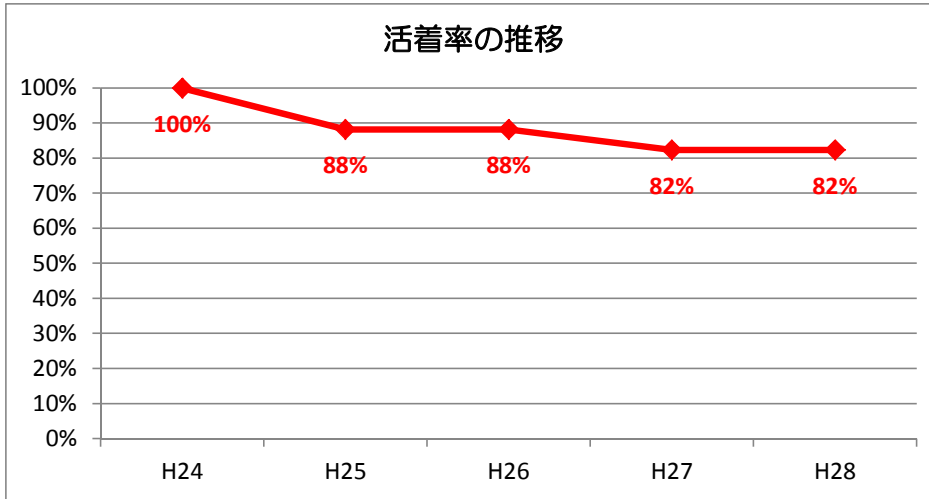


【施業前】



【施業後】

調査結果（標準地内の状況）



【平成25年度】



【調査結果】

- 調査区内の2個体に展葉が見られないが、全体的に根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。
- 食害防止ネットには破損は見られない。

【所見】

- ほぼ順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。
- 未展葉の2個体については経過観察を行う。

【平成26年度】



【調査結果】

- 昨年度、展葉が見られなかった2個体が枯損し、2個体に先折れが見られた。
- 食害防止ネットには破損は見られない。
- 調査区内で食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受けていた。

【所見】

- 2個体に先折れが見られたが、概ね順調に生育している。今後も下刈り期を中心に生育調査を継続する。
- 食害防止ネットの未設置個体が食害を受けていることから、ネットが効果的に機能していることが伺える。

【平成27年度】



【調査結果】

- 昨年度、一部葉がなくなり、生育状況が中庸であった1個体の枯損が確認された。
- 食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受けた結果、生育状況は不良であった。

【所見】

- 概ね順調に生育していることが伺える。今後も生育調査を継続する。
- 食害防止ネットの未設置個体の食害が更に進行していることから、ネットが効果的に機能していることが伺える。
- 調査対象箇所近接地の食害防止ネットがシカによりすり下げられた形跡があることから、食害防止ネットの保守・点検を適宜行い、獣害の防止に努める。

【平成28年度】



【調査結果】

- 良好な伸長成長により食害防止ネットよりも樹高が高くなる個体が見られたが、ネットより高い位置の葉食害、先折れが多く見られた。
- 食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受け、生育状況はネット設置個体と比較して不良であった。

【所 見】

- 食害防止ネットの未設置個体において食害を受けていることから、ネットが効果的に機能していることが確認された。
- 調査対象木は概ね順調に生育していることが伺えるが、樹高がネットより高い個体の先端に食害を受けているため、対策の検討が必要と思われる。今後も生育調査を継続する。
- 調査対象箇所近接地の食害防止ネットがシカによりすり下げられ、食害を受けた形跡があることから、食害防止ネットの保守・点検を適宜行い、獣害の防止に努める。